

厚労省は新年度、全国のがん治療の拠点病院の治療件数や医師数を一覧表示するシステムを導入する。

国立がん研究センターのホームページ（以下、HP）で利用者が、がんの種類や地域を選び、治療の実績や診療体制を比較できるようにして、病院選びの参考にしよう。政府が昨年12月に策定した「がん対策加速化プラン」に盛り込んだ。

システムは、厚労省が指定する全国約400のがん診療連携拠点病院が対象となる。

HPで胃がんや大腸がんなどがんの種類や、進行度、都道府県を入力すると、条件に合った複数の病院の手術件数や専門医資格を持つ医師数、痛みを和らげる緩和ケアチームの数などがまとめて表示される。また多い順位に並べる機能も付けるという。

拠点病院から報告される治療実績などを基にする予定で、医師や患者らで作る有識者会議で内容を協議する。

これまでもがん研究センターが病院ごとに個別の実績などを公開してきたが、患者からより分かり易い情報発信を求める声が上がっていた。（2016/01/08 読売新聞から）